

20丹土第 284 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

京丹波町長 松原 茂樹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記のことに
ついて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

京都府船井郡京丹波町

- ・本町は、平成17年10月に三つの町の合併により広域化が図られた新しい町であり、位置的には京都府のほぼ中央部に在り、国道9号、国道27号、国道173号が交差する要衝の町である。
- ・京都市等広域圏を結ぶ高速道路の整備は未熟であり、現在事業中の京都縦貫自動車道の早期整備を望むものである、また、事業地域自治体として起業者とともに最大限の努力を行っている。
しかしながら、供用開始後は、通過の町となることから完成後の事業の事後評価については、交通量等道路単体の評価だけでなく、各種統計を駆使し「沿線自治体」の状況も含め多面的な評価を願いたい。
- ・基幹となる国道については、バイパス事業等の実施により危険箇所の解消は進んでいるが、まだまだ狭あい区間があり早急な改良が必要である。
また、集落区間に歩道設置がされていないところや基準外の狭あいな歩道しか設置されていない地域も存在し、歩行者の安全確保の観点から第一に整備推進が必要である。
- ・地域間を結ぶ幹線道路の府道は、合併により広域化した本町にとって重要性は今まで以上に増しており、住民を中心とした促進協議会とともに整備促進の要望を行っているが、財政状況等によりなかなか進展していないのが現状であり、国としての支援が必要である。
- ・生活道路となる町道については、幹線となる道路から整備を進めているが、財政状況等により整備可能路線数は限られ、最も整備要望が高い生活に密着したその他の道路の整備や維持管理に十分答えられない状況にあり、国の財政的支援は不可欠である。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

京都府船井郡京丹波町

○現状

- ・本町は、地方部であることから、車を利用とした交通手段が中心であり、道路整備の需要は高い。特に広域道路である京都縦貫自動車道については、現在、本町は終点ＩＣとなっているが事業化されている区間の早期整備が必要である。
- ・基幹道路である国道３路線を有し、現在までその地の利を活かしたまちづくりを進めている。
- ・地域間をネットワークする府道については、地域内国道を補完し防災上も生活上も欠かせない道路であり、府において整備が進められているが、財政状況から制約を受けているのが現状である。
- ・直接生活に密着した町道整備については、主要町道は補助事業で整備し、その他の道路については単独費で整備を行っているため、財政的情况により整備率はまだまだ低い状況にある。
従って、住民の生活道路への整備要望は非常に高く、また住環境の向上への関心も高く既存道路の維持管理についても要望が高まっている。

○課題

本町の総合整備計画は、本道路の供用を見据えて策定しており、また町内エリア全域の活性化・既存ストックの活用の観点から早期の完成が望まれる。

国道は、高速道路と互いに補完しながら本町の基幹となる道路であり、引き続き危険箇所・狭あい区間の解消が必要であり、併せて歩道設置等安全対策の早期整備が必要である。今後も沿線市町と連携し要望を行っていく必要がある。

府道全般については、国の支援により早急な整備が必要であり、また高規格道路や国道バイパス供用開始に向けネットワークを考慮した整備計画が望まれる。

生活道整備に対する満足度は、非常に高いことから一定整備を進め住民の道路への理解を求める必要があり、国の支援は今まで以上に必要である。

また併せて、道路行政に関する情報等住民に積極的に広報することにより、住民の理解と協力を得、道路美化等住民参加の下に道路を守っていくことが重要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー2 地域の目指すべき将来像

様式 ②

京都府船井郡京丹波町

- ・広域道路（高速道及び国道）の整備による道路網のネットワーク化を足かりに、企業誘致等の促進、地域振興の推進や交通の利便性の向上による若年層の定着及び新興住宅団地への定住等による人口の増加による地域の活性化を図る。
- ・地域間道路（国道及び府道）の整備による地域の一体化、生活道路（町道）整備により地域環境の向上を図り、他の部署で行う施策と共に若年層の定着及び高齢化対策の柱とする。
- ・本町が推進する「協働のまちづくり」の理念を道路行政へも活かし、慣行として行われている生活道路の美化・除草作業等の堅持と近年取り組まれた幹線道路（国道、府道）の美化活動ボランティアの継続と更なる拡大を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ③

京都府船井郡京丹波町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域振興・定住化促進	京都縦貫自動車道の整備促進	・企業誘致促進、商工業の活性化、既存住宅団地への定住化及び若年層の流出防止 ・ネットワーク構築、都市部への利便性向上による災害に強い安心安全なまちづくり	早期整備促進
地域間のネットワーク構築	国道、主要府道の整備促進	・合併した旧3町間の利便性向上及び町営バスの安全な運行による交流促進、	整備促進 地方への支援
住環境の向上	府道・町道整備	・地域内ネットワーク化による孤立集落の防止による安心安全性の向上	地方への支線
安全対策	歩道の設置、バリアフリー化	・高齢者や弱者に優しいまちづくり	整備促進 地方への支援
維持管理と住民参加	生活道路等の美化活動	・既存道路の有効利用と延命化による経費節減 ・住民参加により道路への関心及び愛護の精神の高揚。	地方への支援